

2016年2月期 通期

決算説明会資料

2016年4月8日

株式会社メディアドウ
東証第一部 3678
<http://mediado.jp/>



1 ビジネスモデル / ミッション

2 2016年2月期 ハイライト

3 2016年2月期 レビュー

4 電子書籍事業の進捗状況

5 2017年2月期 業績予想

6 今後の成長戦略



1 ビジネスモデル / ミッション

2 2016年2月期 ハイライト

3 2016年2月期 レビュー

4 電子書籍事業の進捗状況

5 2017年2月期 業績予想

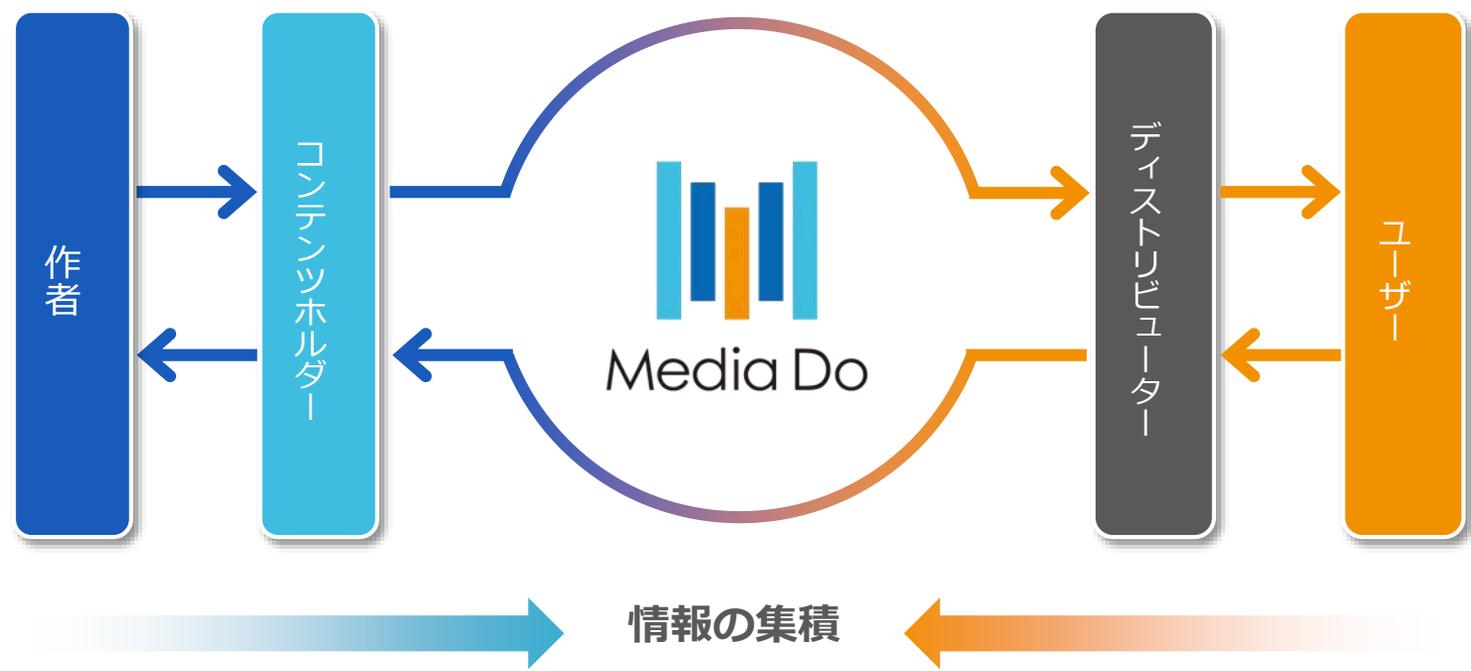
6 今後の成長戦略



事業モデル

当社の事業モデルは、システムを活用した「著作物のデジタル流通事業」です。電子書籍を中心として、音楽、映像、ゲーム等の配信事業を推進。

著作物のデジタル流通事業



ミッション

ひとつでも多くのコンテンツを、
ひとりでも多くの人に届けること。

私たちメディアドゥは、著作物を公正利用のもと、私たちの力で出来る限り広く頒布し著作者に収益を還元するという

“著作物の健全なる創造サイクルの実現”

を事業理念と掲げ、この日本における文化の発展、及び豊かな社会づくりに貢献したいと考えています。



著作権法 第一章 総則 第一節 通則 第一条 この法律は、著作物並びに実演、レコード、放送及び有線放送に関し著作者の権利及びこれに隣接する権利を定め、これらの文化的所産の公正な利用に留意しつつ、著作者等の権利の保護を図り、もつて文化の発展に寄与することを目的とする。

1 ビジネスモデル / ミッション

2 2016年2月期 ハイライト

3 2016年2月期 レビュー

4 電子書籍事業の進捗状況

5 2017年2月期 業績予想

6 今後の成長戦略



2016年2月期のハイライト

電子書籍事業が業績拡大、4Qは前年同期比で増収減益。
通期では前年同期比で売上39.2%、営業利益33.7%の増加。

第4四半期

2015年12月～2016年2月

売上高 : **3,076百万円** (前年同期比 122.1%)

→ **電子書籍売上** : **2,918百万円** (前年同期比 129.3% 売上構成比 94.9%)

営業利益 : **136百万円** (前年同期比 93.3%)

通期(累計)

2015年3月～2016年2月

売上高 : **11,242百万円** (前年同期比 139.2%)

→ **電子書籍売上** : **10,621百万円** (前年同期比 151.1% 売上構成比 94.5%)

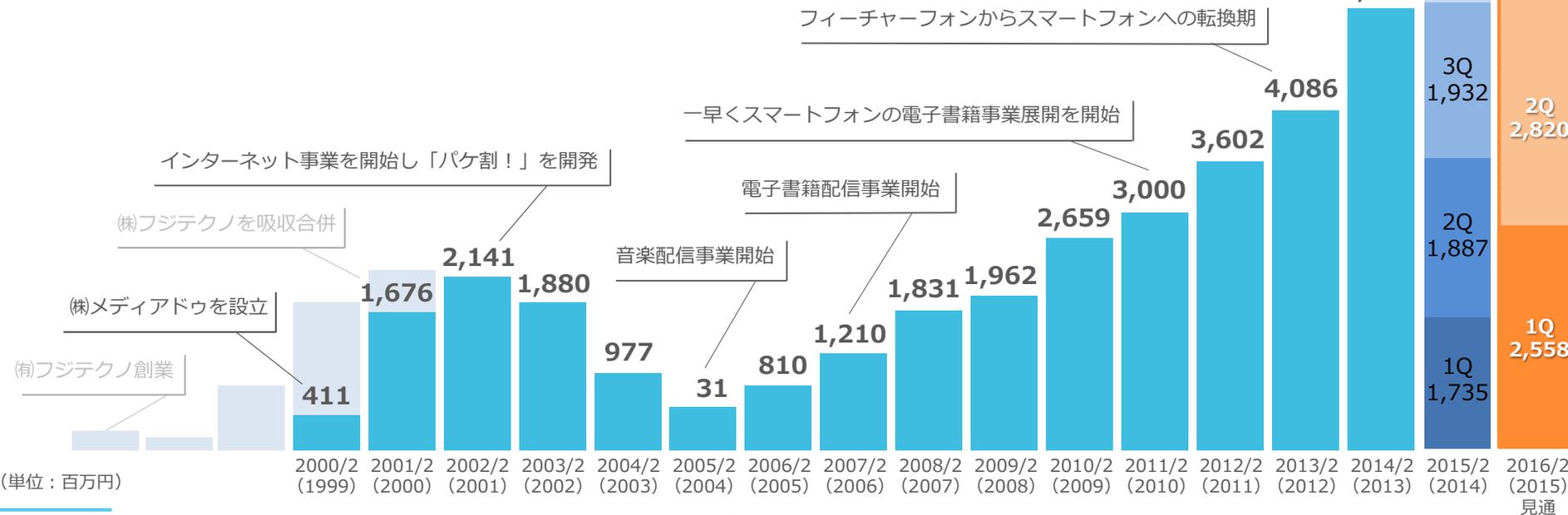
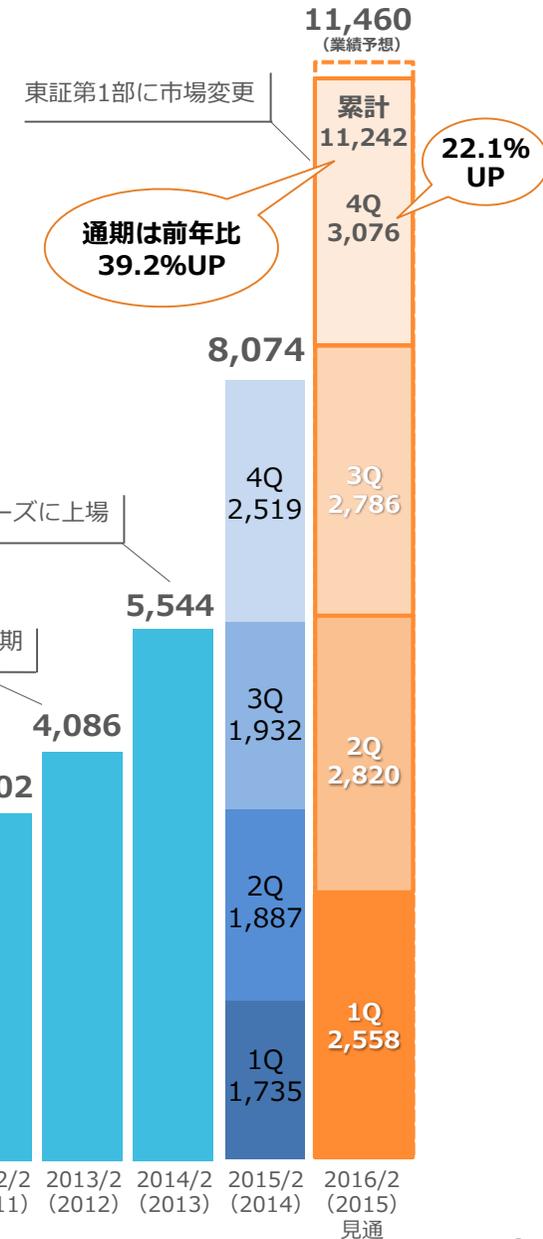
営業利益 : **552百万円** (前年同期比 133.7%)

2016年2月期トピックス

- 1Q**
 - 国内での電子図書館サービスをOverDriveとの提携により本格的にスタート
 - タテヨコ自在読み機能「ユニバーサルフリック」（特許出願済）を搭載したビューアアプリ「MD Viewer」を提供開始
- 2Q**
 - OverDriveの電子図書館システムを国内で初めて公共図書館（茨城県龍ケ崎市立中央図書館）に提供
 - Amazon.co.jpの「プリント・オン・デマンド（POD）」向けにコミックの専属取次契約を締結
 - 大和リビングマネジメントと連携し1日30分電子書籍が読み放題の「D-room Books」を提供開始
 - インターネット広告を一元配信管理可能なワンタグソリューション「Trans-AD」の提供を開始
- 3Q**
 - 茨城県潮来市立図書館にOverDriveの電子図書館システムを提供開始
 - 台湾版「LINE Manga」へ電子書籍システム及び電子書籍コンテンツの提供開始
 - Amazia社が運営する電子コミックアプリ「マンガBANG!」へ、配信プラットフォーム提供と、講談社コミック作品のコンテンツ取次を開始
- 4Q**
 - ✓ 東京証券取引所市場第一部への市場変更
 - ✓ ZITTO社が運営する電子書店「いつでも書店」へビューアソリューション「MD Viewer」を提供開始
 - ✓ OverDrive Japanとして法人向け電子図書館サービス展開を加速へ ～ZITTO社との協業～

売上高の推移

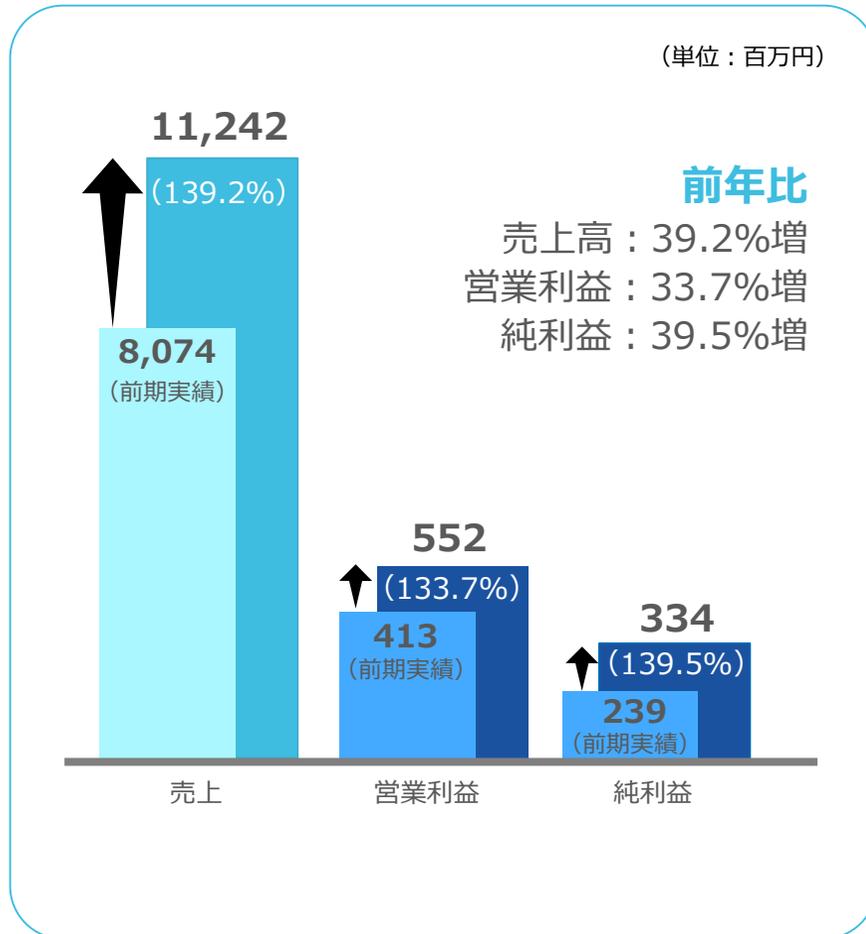
- 1996年：名古屋市に有限会社フジテクノを設立
- 1999年：名古屋市中村区名駅に株式会社メディアドゥを設立
- 2001年：2社を合併し、株式会社メディアドゥが存続会社に
- 2006年：電子書籍事業スタート以来、連続で増収増益
- 2013年：東証マザーズに上場
- 2014年：8月に名古屋から東京へ本社移転
- 2016年：東証第1部に市場変更**



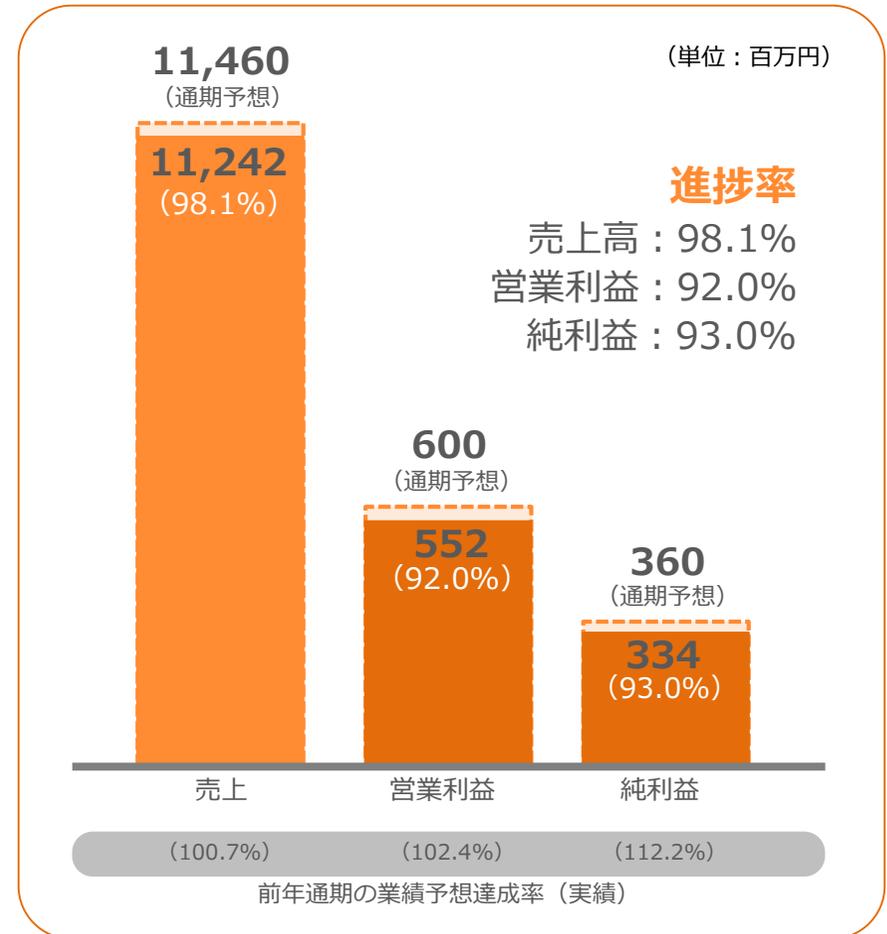
2016年2月期 業績の概要

2016年2月期は、4Qで市場変更に伴う経費の増加及び売上が若干未達となったため、業績予想を下回る。

前年度比較 (通期累計)



通期業績予想比較



配当について

当期の期末配当について、業績及び今後の経営環境、将来のための成長投資等を総合的に判断し、配当方針に沿い、下記の内容で配当を実施予定。

当事業年度の配当性向 **21.1%**

2016年2月期 期末配当 **7円20銭**

※詳細は平成28年4月19日の取締役会にて決議予定

1 ビジネスモデル / ミッション

2 2016年2月期 ハイライト

3 2016年2月期 レビュー

4 電子書籍事業の進捗状況

5 2017年2月期 業績予想

6 今後の成長戦略



2016年2月期 通期実績 (P/L)

(単位：百万円)	2015年2月期 (通期)		2016年2月期 (通期)			2016年2月期 (通期)	
	実績	構成比 (売上対比)	実績	構成比 (売上対比)	前年同期比	通期予想	進捗率
売上高	8,074	100.0%	11,242	100.0%	139.2%	11,460	98.1%
電子書籍事業	7,030	87.1%	10,621	94.5%	151.1%	—	—
音楽・映像事業	469	5.8%	384	3.4%	82.0%	—	—
ゲーム事業	149	1.9%	53	0.5%	35.7%	—	—
その他	425	5.3%	182	1.6%	43.0%	—	—
営業利益	413	5.1%	552	4.9%	133.7%	600	92.0%
経常利益	413	5.1%	553	4.9%	133.8%	600	92.2%
当期純利益	239	3.0%	334	3.0%	139.5%	360	93.0%
1株当たりの配当 (円)	2.00		7.2		+5.2	0	—
配当総額	19		71		+52	0	—
EBITDA※	616	6.4%	722	6.4%	—	—	—

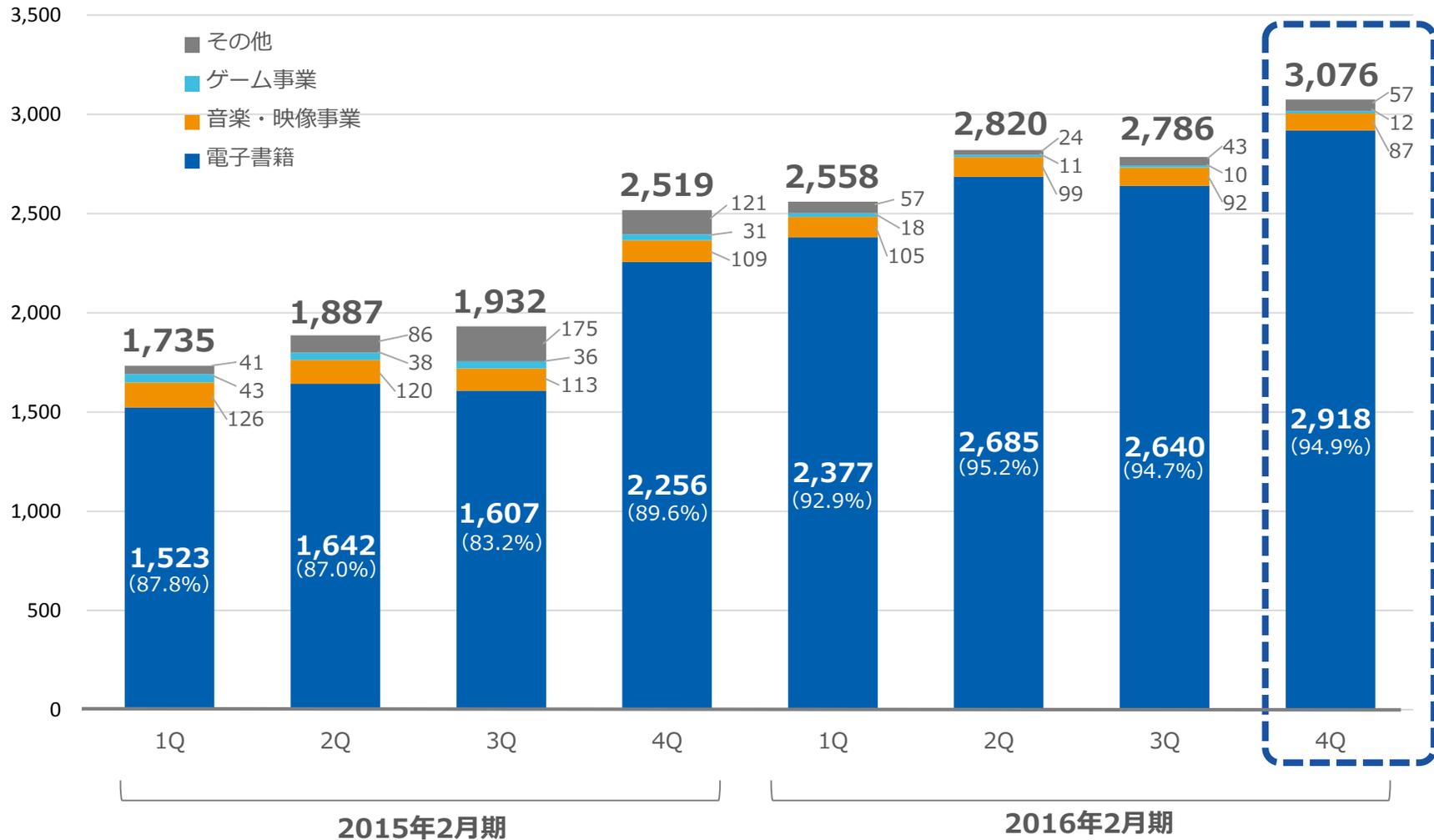
※ EBITDA: 営業利益+減価償却費

2016年12月期 通期実績 (B/S)

(単位：百万円)	2015年2月期	2016年2月期	前年同期差分 (金額ベース)	主たる変動要因、他
流動資産	3,712	4,791	1,079	
現金及び預金	1,740	2,324	584	事業収益の増加、ストックオプション行使
売掛金	1,910	2,401	491	売上増に連動
固定資産	408	694	285	有形固定資産、投資その他の資産の増加
ソフトウェア (ソフトウェア仮勘定を含む)	109	173	63	
資産合計	4,120	5,485	1,365	
流動負債	2,255	3,246	991	
買掛金	1,929	2,889	960	売上増に連動
固定負債	9	0	▲8	
負債合計	2,264	3,247	982	
純資産の合計	1,855	2,238	382	利益剰余金の増加、ストックオプション行使等
負債・純資産合計	4,120	5,485	1,365	

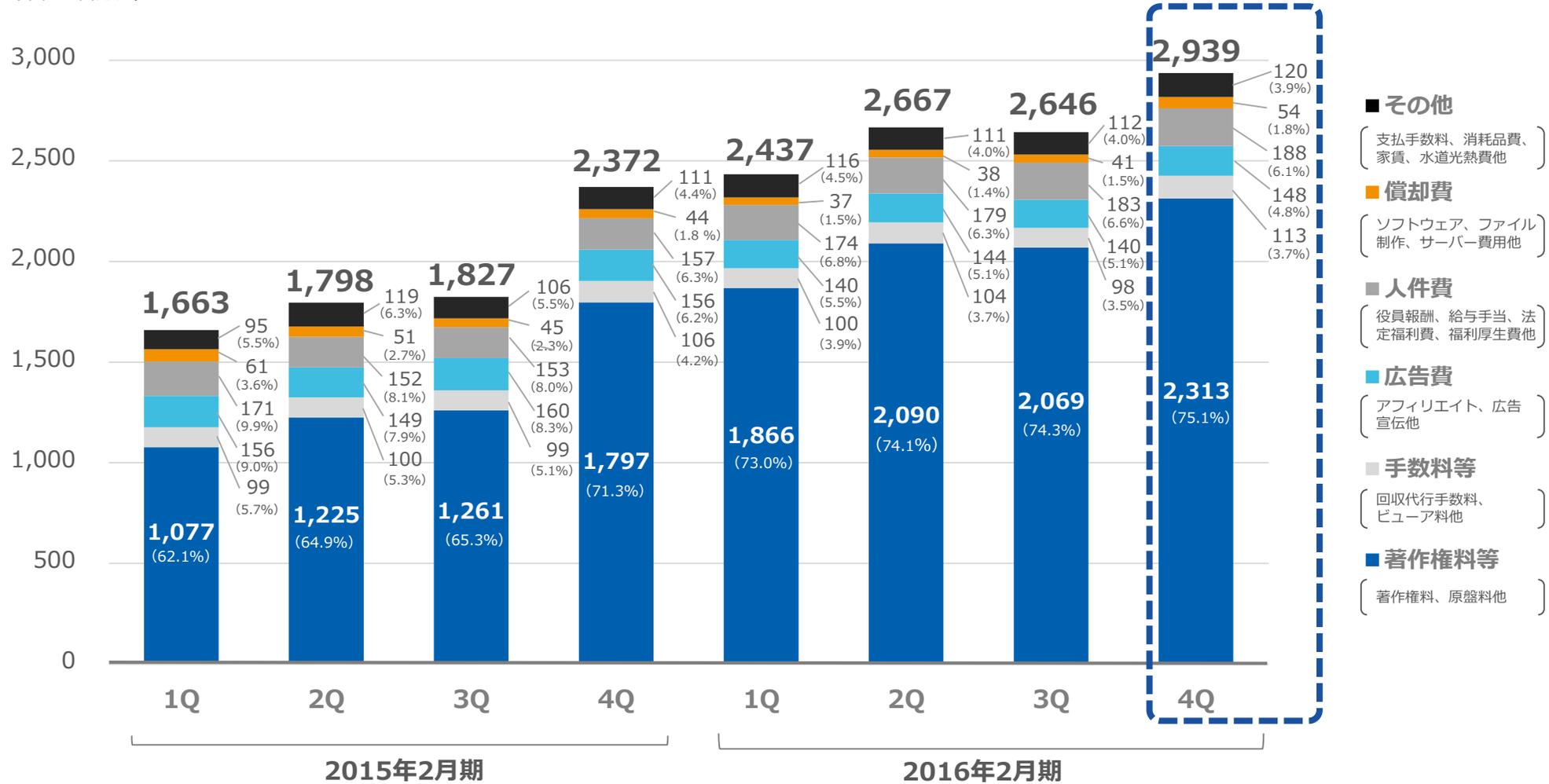
事業別 四半期売上推移

(単位：百万円)

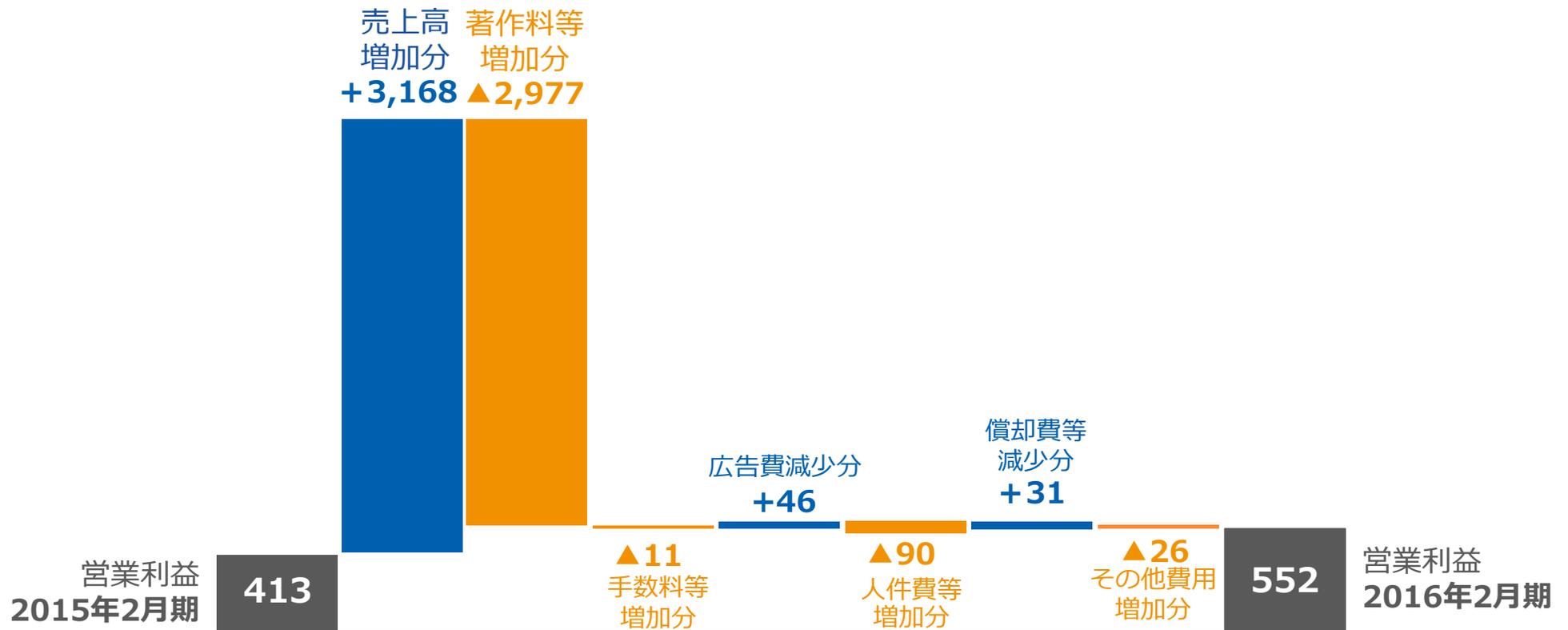


四半期コスト内訳の推移

(単位：百万円)



営業利益の変動要因



(単位：百万円)

2016年2月期 詳細

(単位：百万円)	2015年2月期								2016年2月期							
	1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q	
売上高	1,735		1,887		1,932		2,519		2,558		2,820		2,786		3,076	
電子書籍事業	1,523	87.8%	1,642	87.0%	1,607	83.1%	2,256	89.6%	2,377	92.9%	2,685	95.2%	2,640	94.7%	2,918	94.9%
音楽・映像事業	126	7.3%	120	6.4%	113	5.9%	109	4.3%	105	4.1%	99	3.5%	92	3.3%	87	2.9%
ゲーム事業	43	2.5%	38	2.0%	36	1.9%	31	1.2%	18	0.7%	11	0.4%	10	0.4%	12	0.4%
その他	41	2.4%	86	4.6%	175	9.1%	121	4.9%	57	2.3%	24	0.9%	43	1.6%	57	1.9%
売上原価、販売管理費	1,663		1,798		1,827		2,372		2,437		2,667		2,646		2,939	
著作権料等	1,077	62.1%	1,225	64.9%	1,261	65.3%	1,797	71.3%	1,866	73.0%	2,090	74.1%	2,069	74.3%	2,313	75.2%
手数料等	99	5.7%	100	5.3%	99	5.1%	106	4.2%	100	3.9%	104	3.7%	98	3.5%	113	3.7%
広告宣伝費	156	9.0%	149	7.9%	160	8.3%	156	6.2%	140	5.5%	144	5.1%	140	5.1%	148	4.8%
人件費等	171	9.9%	152	8.1%	153	8.0%	157	6.2%	174	6.8%	179	6.3%	183	6.6%	188	6.1%
償却費等	61	3.6%	51	2.7%	45	2.3%	44	1.8%	37	1.5%	38	1.4%	41	1.5%	55	1.8%
その他	95	5.5%	119	6.3%	106	5.5%	111	4.4%	116	4.5%	111	4.0%	112	4.0%	120	3.9%
営業利益	72		88		105		146		122		152		140		136	
経常利益	72		88		105		146		122		153		140		137	
当期純利益	38		51		61		88		75		97		88		72	

※ %は売上対比

1 ビジネスモデル / ミッション

2 2016年2月期 ハイライト

3 2016年2月期 レビュー

4 電子書籍事業の進捗状況

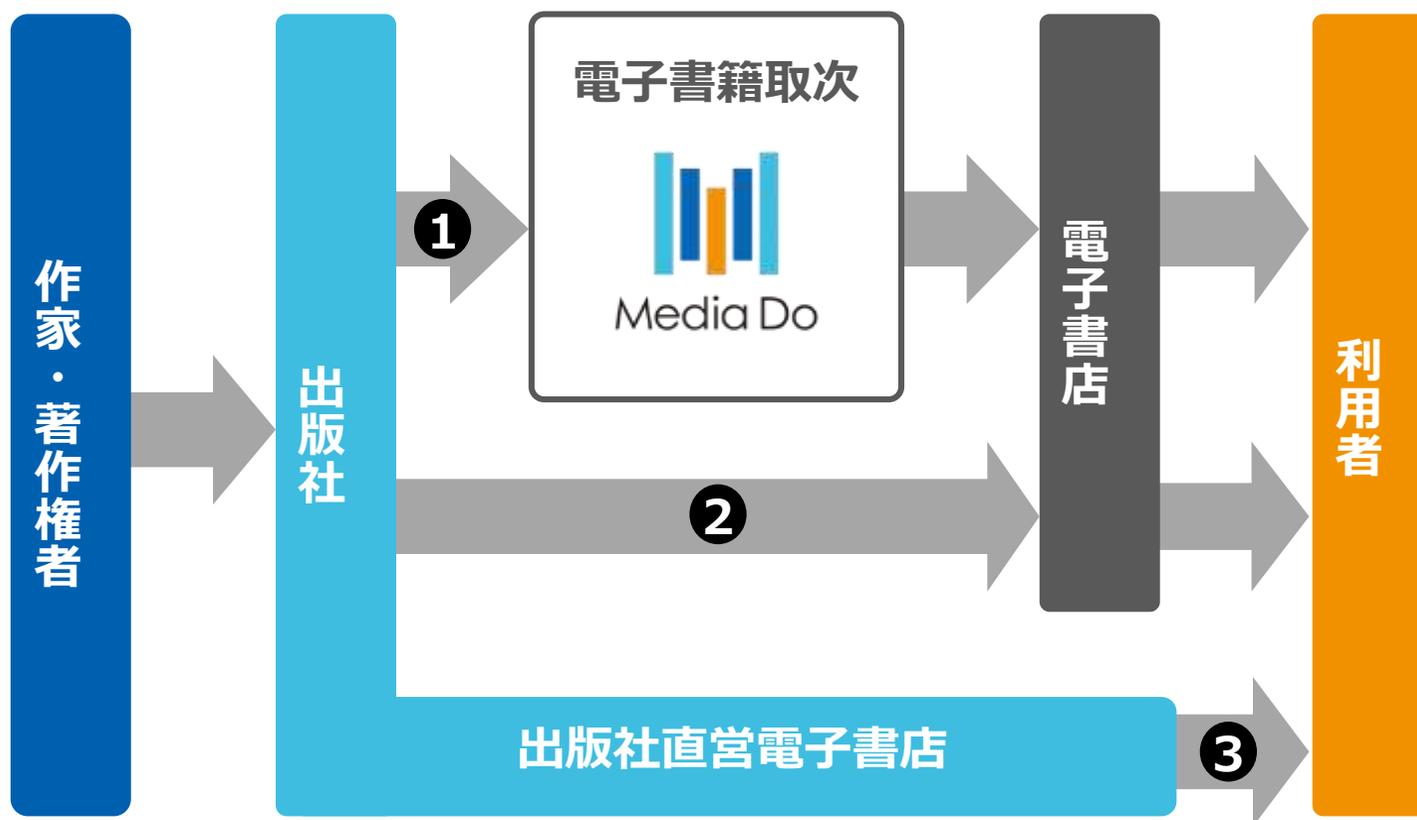
5 2017年2月期 業績予想

6 今後の成長戦略



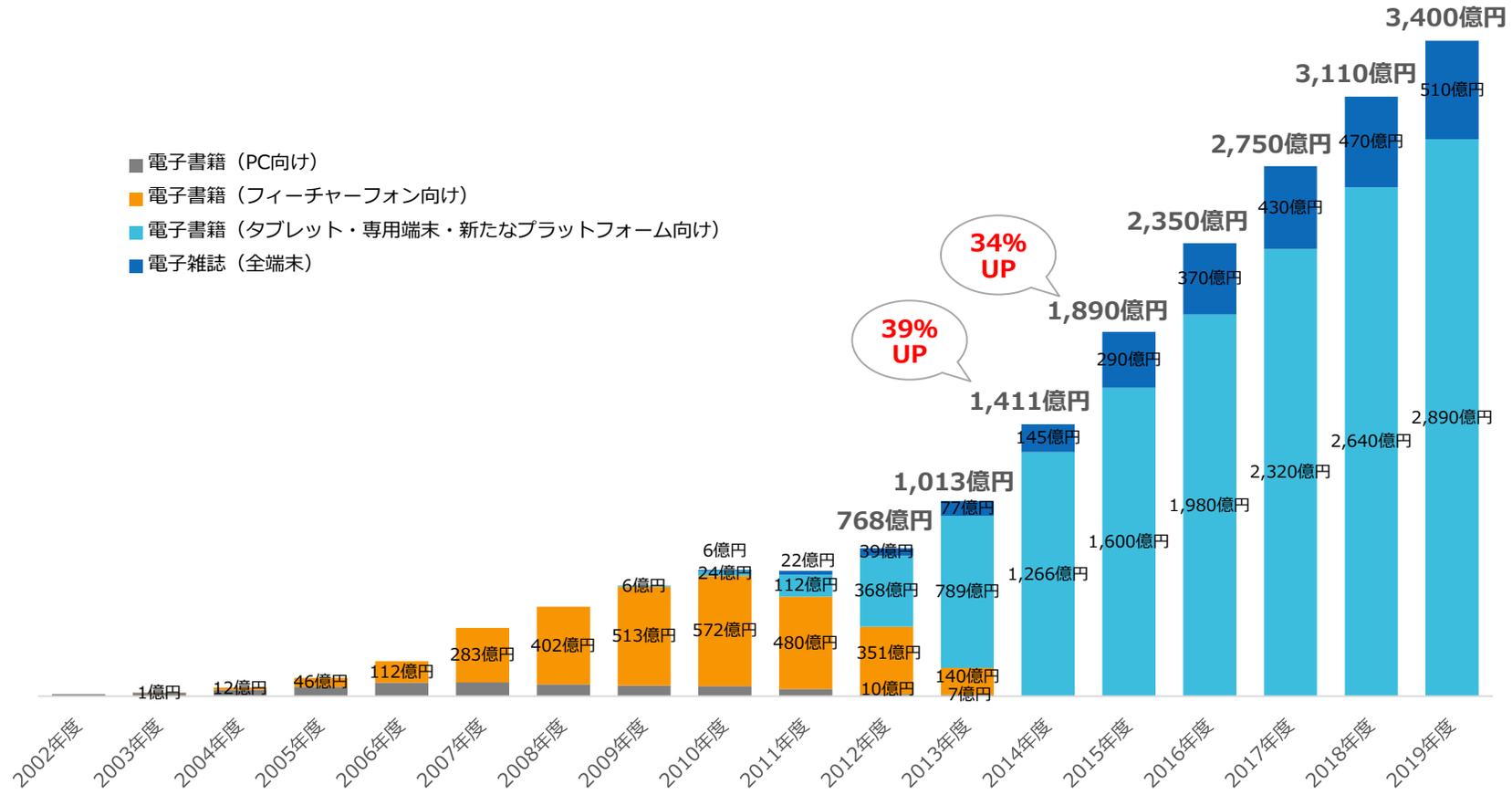
当社の事業ポジション

「電子書籍取次」は、ニーズが高まってきた2006年頃にスタート。市場拡大とともに、出版社の煩雑な業務の担い手として定着。その後、取次の利用が主流となり流通シェアは年々上昇。



電子出版市場

2014年度の電子書籍市場規模は前年比35%増の1,266億円。2019年度の電子書籍と電子雑誌を合わせた電子出版市場は3,400億円規模へ成長と予測。

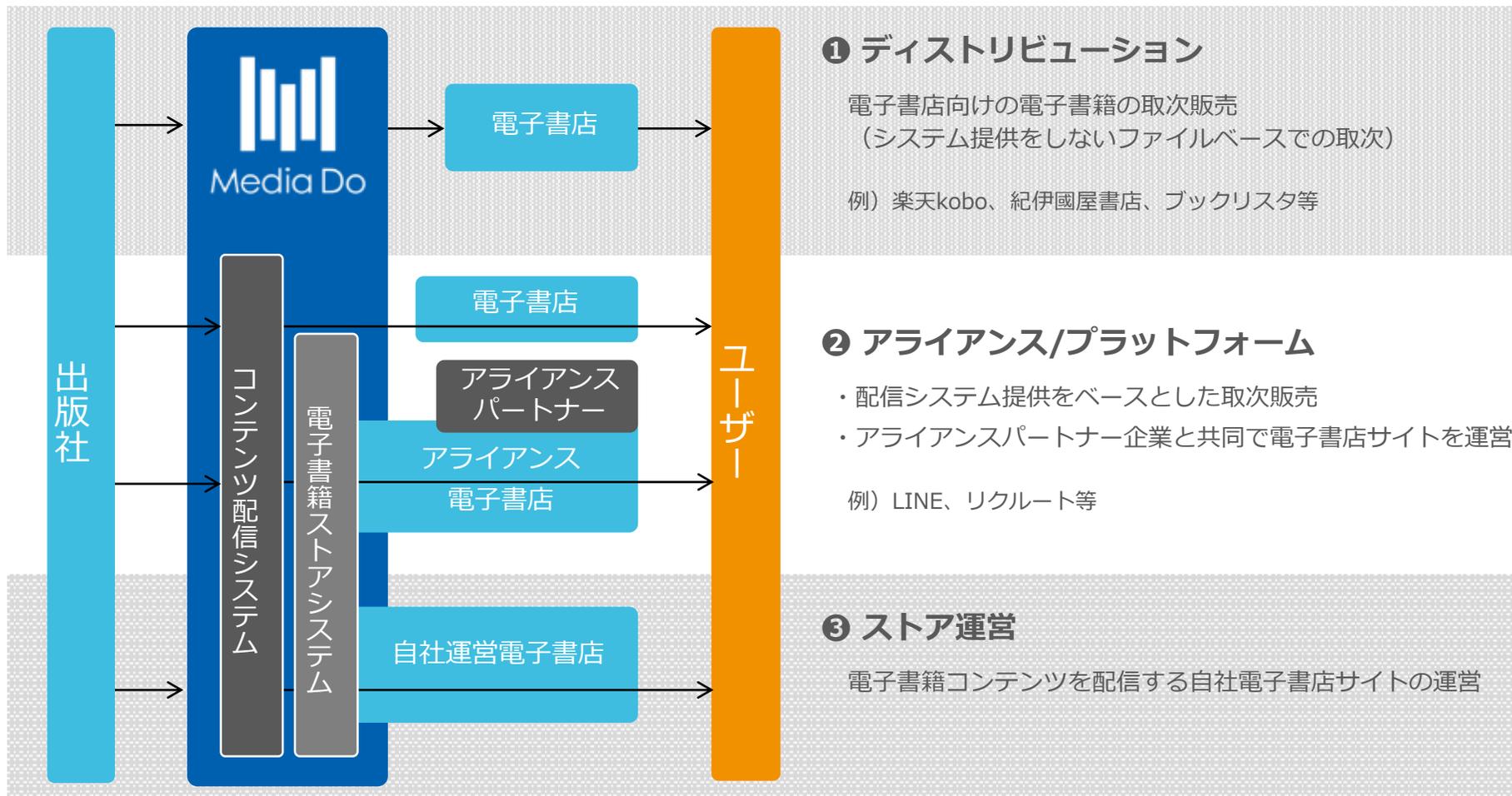


出所：インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2015」



サービス形態

当社の電子書籍事業におけるサービス形態については、以下のようになっている。



サービス形態別売上推移

(単位：百万円)	2015年2月期				2016年2月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
電子書籍事業売上	1,523	1,642	1,607	2,256	2,377	2,685	2,640	2,918
①ディストリビューション	443 29.1%	432 26.3%	386 24.0%	898 39.8%	959 40.4%	1,111 41.4%	1,054 39.9%	1,139 39.0%
②アライアンス/プラットフォーム	723 47.5%	868 52.9%	886 55.2%	1,024 45.4%	1,084 45.6%	1,227 45.7%	1,238 46.9%	1,418 48.6%
③ストア運営	356 23.4%	341 20.8%	334 20.8%	333 14.8%	333 14.0%	346 12.9%	347 13.1%	360 12.4%

※ %は電子書籍事業売上を100とした場合の構成比

① ディストリビューション

- ・ 出版社による冬季のキャンペーン企画等によって販売が増加し、それに伴う売上の増加。

② アライアンス/プラットフォーム

- ・ LINEマンガは続伸。その他新規サービスが立ち上がり増加に寄与。

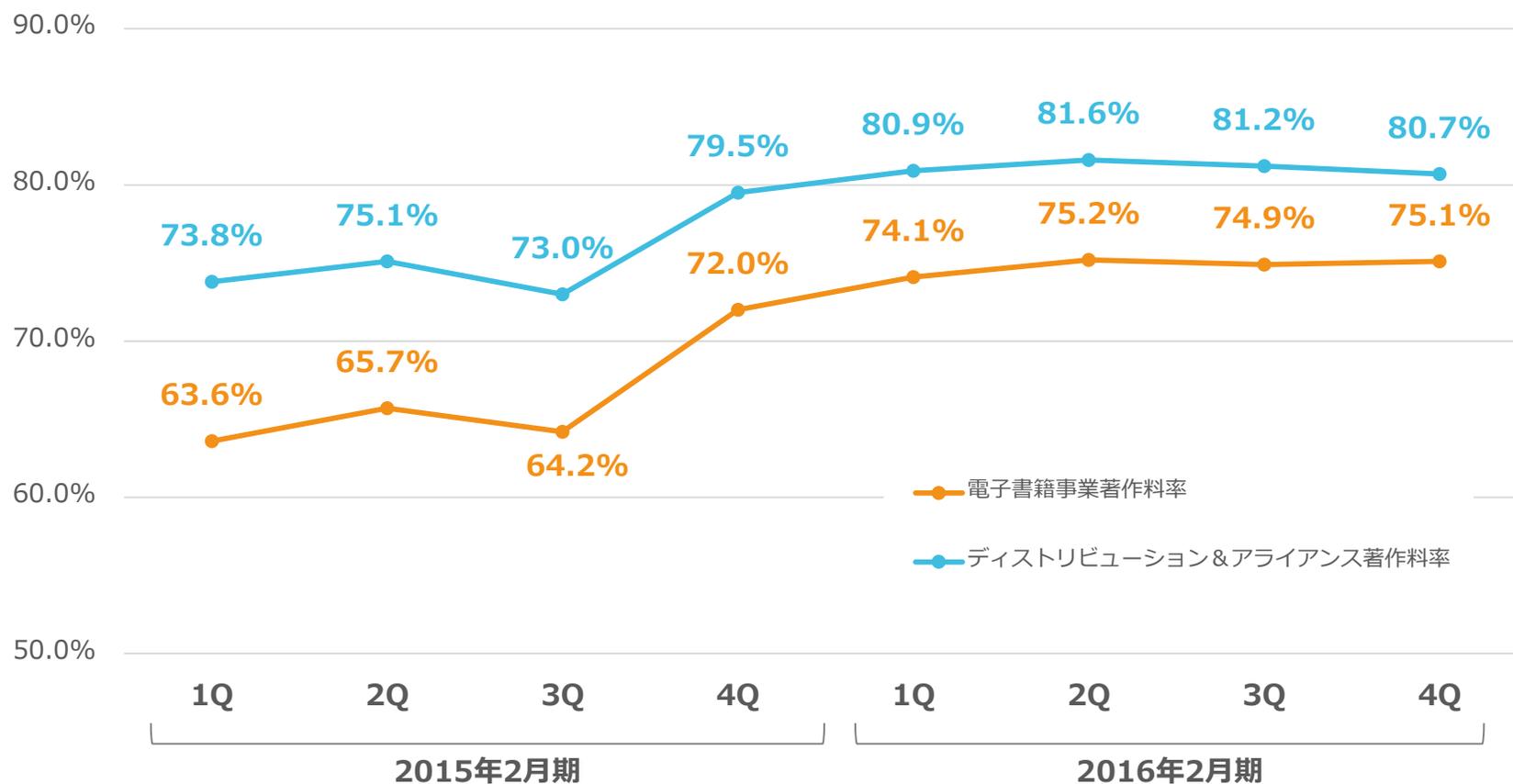
③ ストア運営

- ・ 年間を通じて、売上水準を維持。

電子書籍著作料率の推移

電子書籍事業の著作料率は、横ばい。

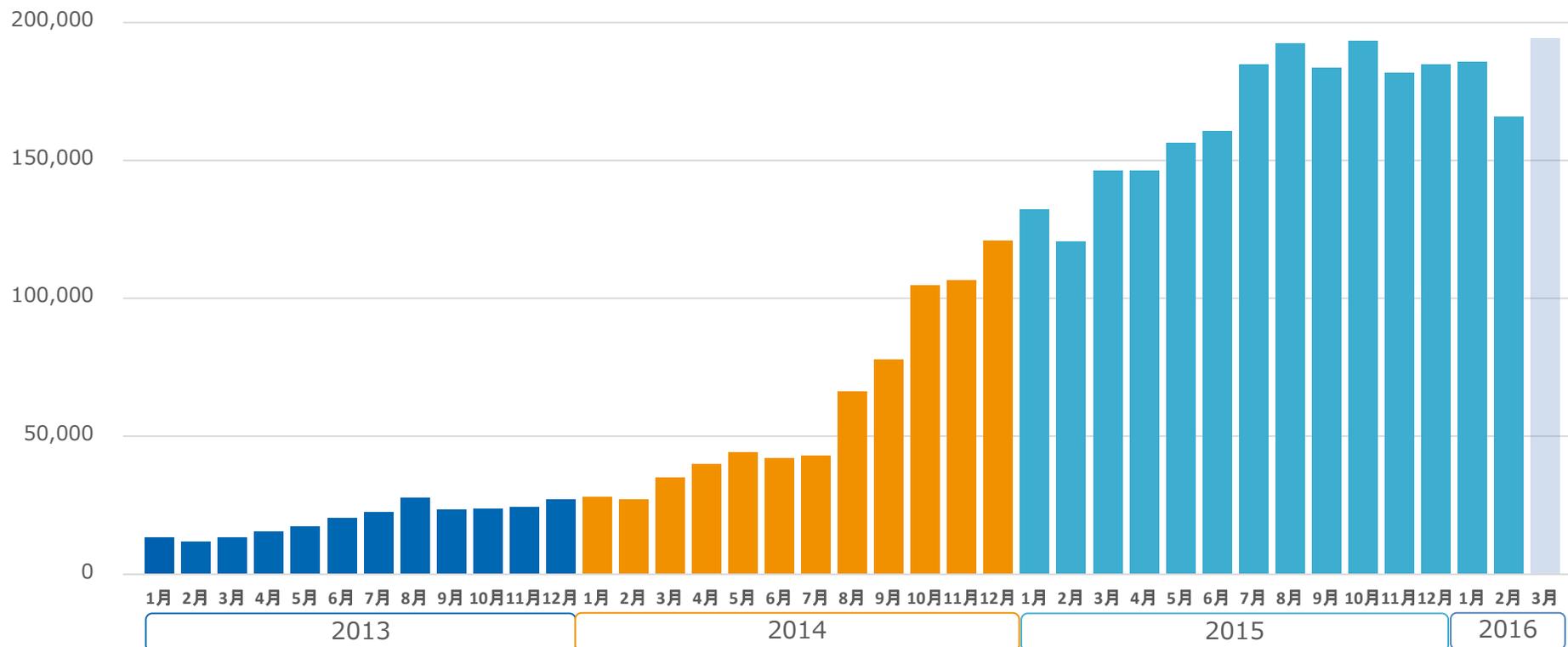
ディストリビューションおよびアライアンスに係る著作料率の0.7ポイントの減少により利益率が改善。



ダウンロード（DL）数の推移

「md-dc」における、電子書籍コンテンツのダウンロード数推移（サンプルDLも含む）。

（単位：千DL）



※ 上記数値は当社配信サーバー「md-dc」におけるDL数値で、同一購入コンテンツの複数の端末へのダウンロードや端末から削除後の再ダウンロード数は含みません。



1 ビジネスモデル / ミッション

2 2016年2月期 ハイライト

3 2016年2月期 レビュー

4 電子書籍事業の進捗状況

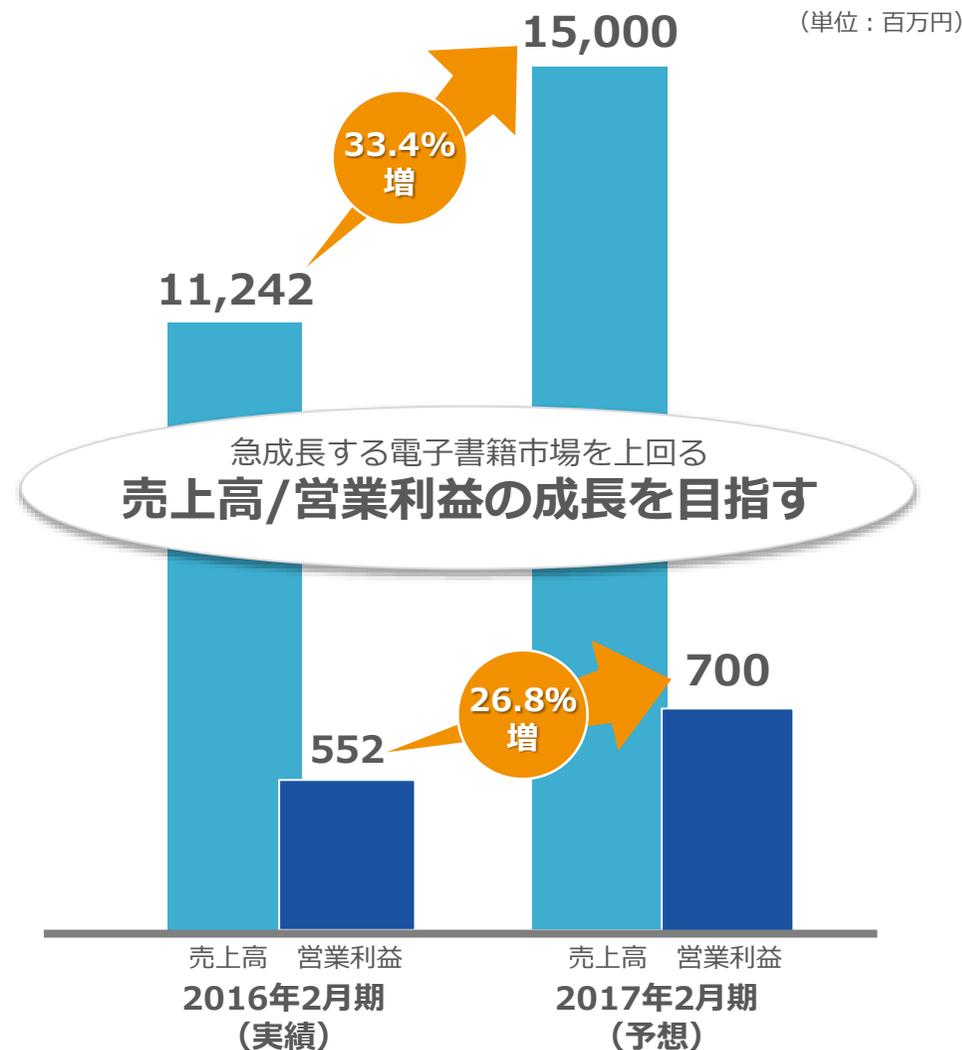
5 2017年2月期 業績予想

6 今後の成長戦略



2017年2月期 業績予想

(単位：百万円)	通期		前年同期比
	2016年2月期 (実績)	2017年2月期 (予想)	
売上高	11,242	15,000	133.4%
営業利益	552	700	126.8%
対売上比率	4.9%	4.7%	
経常利益	553	700	126.6%
対売上比率	4.9%	4.7%	
当期純利益	334	434	129.6%
対売上比率	3.0%	2.9%	
EBITDA	722	897	124.0%
	6.4%	6.0%	



2017年2月期（予想）における営業利益変動要因分析

(単位：百万円)	2015年2月	2016年2月		2017年2月			
	実績	実績	増加額	伸張率	業績予想	増加額	伸張率
売上高	8,074	11,243	3,168	139.2%	15,000	3,757	133.4%
変動費	6,477	9,403	2,926	145.2%	12,500	3,097	132.9%
対売上比率	80.2%	83.6%			83.3%		
限界利益	1,597	1,839	242	115.2%	2,499	660	135.9%
対売上比率	19.8%	16.4%			16.7%		
固定費	1,184	1,287	103	108.7%	1,799	512	139.8%
対売上比率	14.7%	11.4%			12.0%		
営業利益	413	552	139	133.7%	700	148	126.8%
対売上比率	5.1%	4.9%			4.7%		

固定費の増加の主要因

○採用強化における人件費増加 **170** ○固定資産等に係る経費増加 **74** ○ランニングコストの増加 **268**

170：中途、新卒、昇給等人件費増加分

14：新社屋設備償却費

131：新社屋賃借料等

60：サーバー償却費等

49：移転関連消耗品等

31：採用募集費

46：サーバー等管理費

11：その他経費の増減

※2017年2月期については、さらなる成長のための先行投資として、マネージャーやエンジニア採用強化、7月には人員増に対応した本社の拡張移転等により、経費等が増加するため、利益率の低下を想定しています。

1 ビジネスモデル / ミッション

2 2016年2月期 ハイライト

3 2016年2月期 レビュー

4 電子書籍事業の進捗状況

5 2017年2月期 業績予想

6 今後の成長戦略



成長戦略の基本方針

メディアドゥの3つの事業拡張の方向性。

①

国内事業拡大

急成長を続ける国内電子書籍市場でのシェア拡大

②

海外流通展開

日本の秀でたコンテンツの世界に向けた流通

③

電子図書館展開

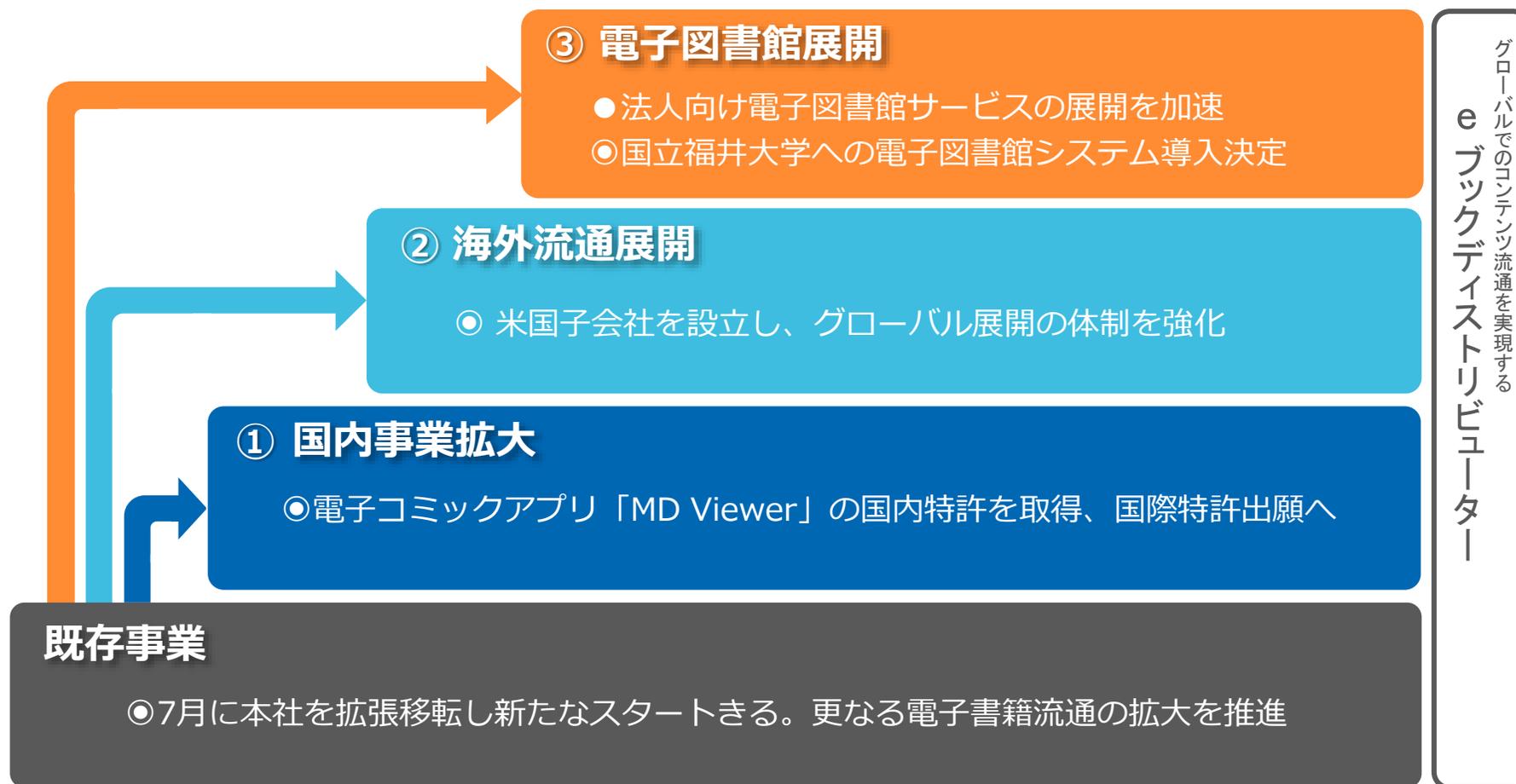
貸出による新しい形態でのコンテンツ流通

ひとつでも多くのコンテンツをひとりでも多くの人に届けること



成長シナリオ進捗サマリー

3方向に展開するコンテンツ流通は、概ね順調に推移。



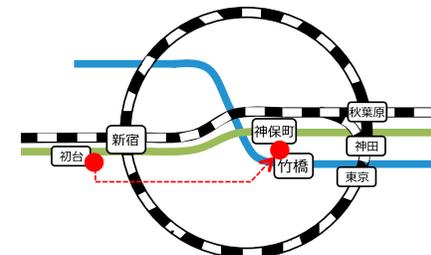
本社オフィスを渋谷（初台）から竹橋へ拡張移転

当社は、今年7月より、皇居を一望出来る竹橋のシンボルであり、竣工50年を迎える「パレスサイドビル」で新たなスタートを切ります。今後、加速させていくグローバル展開において、歴史とともに歩んできた日本のコンテンツの発信地にふさわしいオフィスとして、日本近代建築の傑作の一つとして知られる当ビルを選びました。



東京都千代田区一ツ橋一丁目1番1号 パレスサイドビル5F

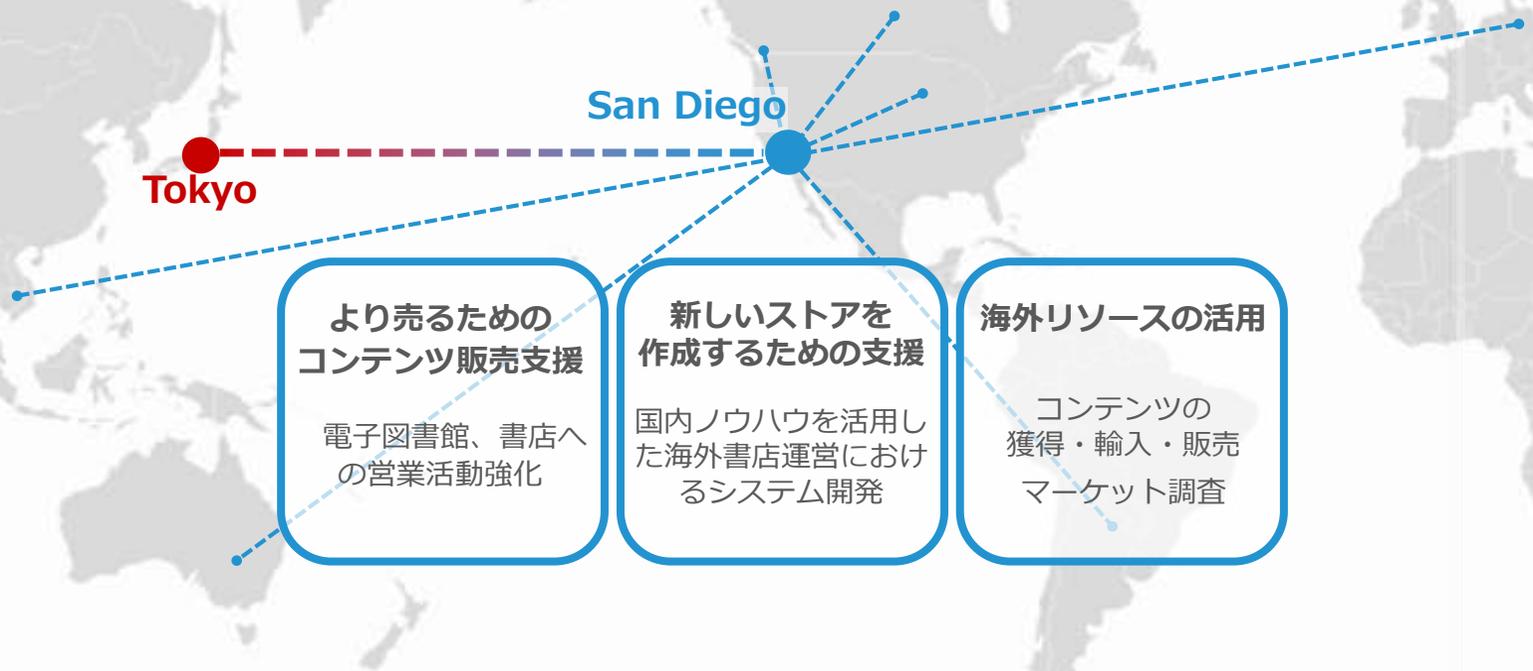
※パレスサイドビルは、一日の在館人口は約6,000人超、外部からの入館者は2万人を超えるなど、文字通り地域のシンボルとして都心の一角に豊かな潤いを与えています。アーキテクトは故・林昌二氏が担い、建築業協会（BCS）賞、空調衛生工学会賞、BELCA賞、モダニズム建築20選に選出されるなど、竣工以来数多くの賞を受賞しています。ビルの歴史的価値を維持する一方、IT（情報技術）の進歩が加速する中、通信インフラの整備などリニューアルも積極的に行われており、ビル業界や利用者から高い評価を受けています。皇居の松の緑、石垣、お濠などの環境に調和するデザインで、1966年の竣工以来、1960年代を代表する大規模複合建築として、その後のオフィス建築のプロトタイプになった建築であり、日本近代建築の傑作の一つとして知られています。（パレスサイドビルHPより）



海外流通展開

メディアドゥの成長戦略の一つである「海外展開」において、米国提携先の「Scribd」「OverDrive」に加え、Amazon等の現地電子書店へコンテンツ提供を開始しておりますが、海外販売促進活動を加速するため、6月に現地法人（100%子会社）を設立し、スピーディーかつ柔軟な事業展開を推進していきます。

Media Do International.Inc（予定）



Tokyo

San Diego

より売るための
コンテンツ販売支援

電子図書館、書店への
営業活動強化

新しいストアを
作成するための支援

国内ノウハウを活用した
海外書店運営における
システム開発

海外リソースの活用

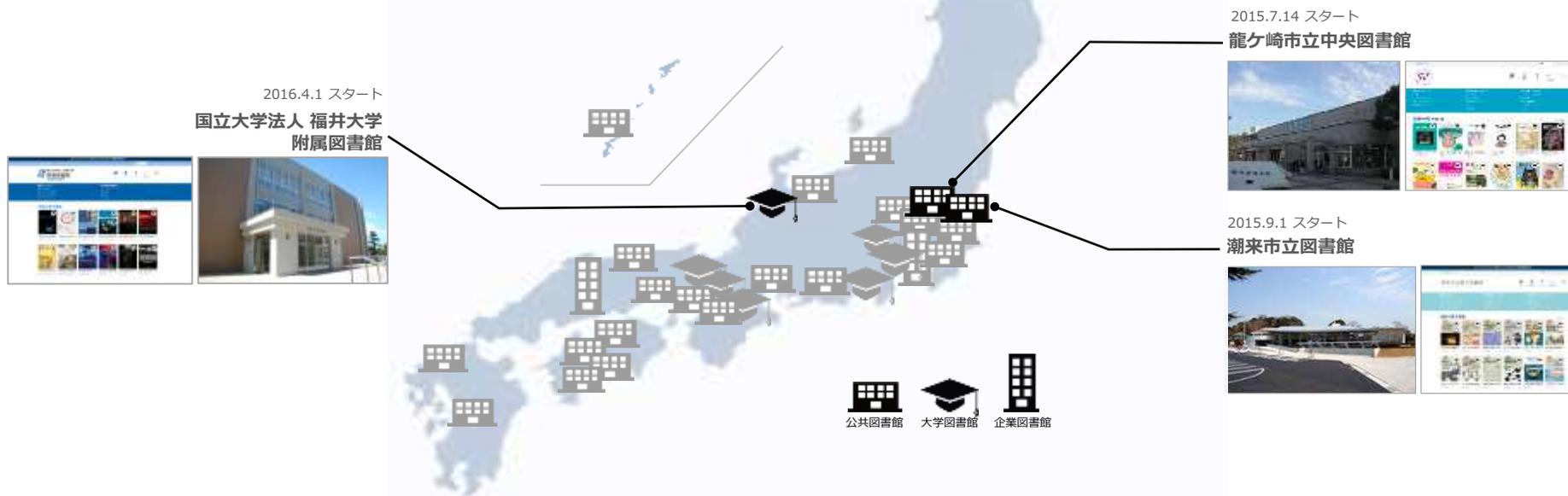
コンテンツの
獲得・輸入・販売
マーケット調査

電子図書館展開

2016年4月1日に、国立大学としては初めて福井大学にOverDrive電子図書館システムの提供を開始しました。国立大学の導入を契機に、学術系のコンテンツ獲得を加速させ、大学における電子図書館システムを利用提案を促進していきます。

〈電子図書館マーケティング活動トピックス〉

- ・全国各地の図書館フォーラムに参加（仙台、和歌山、塩尻、大分等）
- ・4月1日から「障害者差別解消法」がスタート
- ・啓蒙活動から導入サポート活動へ
- ・“OverDriveJapan”ホームページ、Facebookページの立ち上げ
- ・大手企業からの企業図書館導入引き合い増加
- ・海外電子図書館への輸出が100館を突破



会社概要

商号	株式会社メディアドゥ (MEDIA DO Co.,LTD.)
設立	1999年4月
資本金	896,969,750円 (2016年2月末日現在)
役員構成	代表取締役社長 藤田 恭嗣 取締役 溝口 敦 取締役 山本 治 取締役 伊藤 啓 (社外取締役/独立役員) 取締役 伊藤 行雄 (社外取締役/独立役員) 常勤監査役 大和田 和恵 監査役 森藤 利明 (社外監査役/独立役員) 監査役 堀 泰人 監査役 田村 茂 (社外監査役/独立役員)
従業員数	138名 (社員 105名、アルバイト等 33名 / 2016年2月末日現在)
本社	東京都渋谷区代々木4丁目30番3号 新宿MIDWESTビル5F (初台)
名古屋テクニカルオフィス	愛知県名古屋市中区丸の内3-5-10 名古屋丸の内平和ビル9F
徳島木頭オフィス	徳島県那賀郡那賀町木頭和無田字イワツシ5-23

本社



名古屋
テクニカル
オフィス



徳島木頭
オフィス





Media Do

将来見通しに関する注意事項と会計監査について

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

また、本資料内には会計監査人の監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性を完全に保証するものではありません。従いまして、本資料に全面的に依拠した投資等の判断を行なうことは控えていただけますようお願いいたします。